

来年度のより良い活動に向けて意見交換

令和5年度朝日自然塾連絡協議会

朝日庄内森林生態系保全センターでは、平成 18 年度より、朝日山地に関係の深い団体と協力し、小中学生の親子等を対象に、朝日山地とその周辺をフィールドとした体験型森林環境プログラムを「朝日自然塾」と銘打って実践しております。

今年度は全 5 回のプログラムのうち 4 回開催することができ、あと 1 回を残すのみとなっております。1 月 19 日（金）山形県自治会館において朝日自然塾連絡協議会を開催し、関係機関と今年度の結果と来年度に向けた活動について協議会を開催しました。



唐澤森林整備部長の挨拶

当日は、山形県山岳連盟、出羽三山の自然を守る会、小国の自然を守る会、山形県溪流釣り協議会、西川町大井沢区、大井沢自然博物館及び鶴岡市朝日庁舎といった関係機関 7 団体、国有林職員（関係各森林管理局、署、朝日センター）の出席により行いました。

開会に先立ち、東北森林管理局唐澤森林整備部長の「朝日自然塾が森林の中で自らの体験や学びを通して生きる力を育てる場となり、ひいては地域の活性化につながるよう、今年度のプログラムの実施結果の評価、来年度のプログラムの策定について、議論をしていただきたい」との挨拶をしました。

事務局から、今年度のプログラムの実施状況と来年度のプログラムの策定についての基本的な考え方と具体的なプログラム案について説明を行い、各団体の代表者から今年度の実施状況を踏まえた意見や、来年度のプログラム内容に関する具体的な意見などをいただきました。

最後に朝日センター中嶋所長から「本日の会議でいただいた意見等を反映させ、来年度の朝日自然塾の活動をより良いものにしていきたい」との閉会の挨拶により終了となりました。

東北森林管理局

朝日庄内森林生態系保全センター